



2018年8月3日

各位

会社名 フォスター電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉澤博三
 (コード6794、東証1部)
 問合せ先 IR・法務部長 山本有三
 (TEL: 042-546-2305)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月期第1四半期累計期間（2018年4月1日～2018年6月30日）におきまして、下記のとおり特別損失を計上しましたのでお知らせします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年4月27日の「平成30年3月期決算短信」にて公表しました通期業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 特別損失の計上について

今期は、主要顧客向けヘッドセットの需要減と販売価格の低下により収益低下が余儀なくされています。こうした事業環境を踏まえ当社グループは、収益基盤の再構築に向けた合理化を進めています。その一環として、ベトナム地域の子会社等で早期退職者を募集した結果、948百万円の特別退職金（特別損失）を計上しました。また、モバイルオーディオ事業に使用している固定資産を再評価した結果、減損損失として2,087百万円を計上することになりました。

2. 通期業績予想の修正について

2019年3月期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	150,000	5,500	5,000	2,500	97.16
今回修正予想 (B)	140,000	3,000	2,500	△2,500	△97.16
増減額 (B) - (A)	△10,000	△2,500	△2,500	△5,000	
増減率 (%)	△6.7	△45.5	△50.0	-	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	184,800	9,307	9,062	4,265	165.78

3. 修正の理由

売上高につきましては、主要顧客向けヘッドセットの販売において数量、価格ともに期初計画より低下する見込みとなることにより修正しました。

利益につきましては、主要顧客向けヘッドセットの需要が期初計画よりさらに低下したことを受け修正しました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記特別損失の計上等により修正しました。

現在、当社グループでは、車載向け製品事業を主軸とすべく取り組み、新規事業も着実に進行しています。また、これまで収益のけん引役であったスマートフォン用ヘッドセットビジネスの減速に対しても、引き続き生産体制の最適化を図っていきます。

〔注〕業績予想に関する留意事項

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報等に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績結果は、状況の変化など様々な要因によって上記予想・見込みとは異なる場合がありますので、ご承知おきください。

以 上